



診療科のご案内 — 呼吸器外科 —

当院呼吸器外科では、「患者中心の医療」を基本理念として掲げ、肺・縦隔・胸壁疾患を対象にした幅広い診療を行っております。

診療にあたっては、病状だけでなく患者さん一人ひとりの生活背景や価値観、治療に対する希望を丁寧に伺い、最適な治療方針を共に考える姿勢を大切にしています。

現在、当科は常勤医1名、非常勤1名の体制ですが、必要に応じ、名古屋市立大学病院と連携し診療にあたっています。一人体制のメリットとして、初診から治療、術後フォローアップまで一貫して同じ医師が担当することで、患者さん個々の価値観や生活背景を踏まえた、きめ細かく一貫性のある診療を提供できる点があると考えております。

主な対象となる疾患は、肺癌、気胸、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍で、年間100例程度の手術を行っております。肺腫瘍にてご紹介頂いた患者さんについては、呼吸器内科、放射線科とカンファレンスを行い、手術適応、治療方針を決定した上で、患者さんに説明、提示し、最終的には、ご本人、ご家族の意向に沿って、手術適応、術式を決定しています。術式は、身体的負担の少ない胸腔鏡下手術（VATS）を積極的に導入し、患者さんの生活への影響を最小限に抑えることを目指しております。

また、胸部外傷（外傷性血気胸、肺挫傷）も積極的に受け入れております。また、3次救急病院として、交通事故などの際の多発外傷、重症外傷にも、関連する科と連携し、対応しています。

当科の外来日は、月曜日と木曜日ですが、緊急の症例については、随時受け付けております。治療のご依頼だけでなく、診断や治療方針に関するご相談のみでも歓迎いたします。また、術後の患者さんには「がん診療地域連携パス」を用い、かかりつけ医療機関と連携して、術後のフォローも行っております。

地域の医療機関の皆さまと連携し、患者さんにとって最良の医療を実現したいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。



がん診療地域連携クリティカルパスについて

「がん診療地域連携パス」とは、5大がん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）や前立腺がんを対象に、当院で治療を受けた患者について、かかりつけ医と連携し、治療計画に沿って継続的な診療を行うための仕組みです。

自宅に近い医療機関へ通院となることで、通院時間や診療の待ち時間の短縮の軽減ができるほか、複数の医師がサポートすることで、日常的な病気に関する診察から専門的治療・緊急時対応まで、安心した医療を提供することができます。

運用実績として、令和6年度は胃がん4件、大腸がん36件、乳がん103件の合計143件で、前年比55件増となりました。今年度も昨年度を上回る件数で推移しております。

当院がん診療地域連携パスには、現在131の医療機関にご参加いただいております。また、施設基準の届出を行うことで、「がん治療連携指導料」を算定することが可能となります。がん診療地域連携パスへご参加いただける場合は、患者サポートセンターまでお問い合わせください。



□ 地域別連携医療機関数

豊川市	豊橋市	蒲郡市	新城市	田原市	その他
43	51	13	16	4	4

脳神経内科「早期認知症外来」のご案内

当院では、アルツハイマー病による軽度認知障害（MCI）および軽度認知症の治療薬「レカネマブ（レケンビ）」の導入に合わせ、令和6年4月より、脳神経内科に早期認知症外来を開設し、認知症の適切な診断および病態に応じた治療体制の整備を進めています。診察は、毎週木曜日の午前9時00分・9時30分の2枠（完全予約制）で、経過などからアルツハイマー病が疑われ、紹介元で施行したMMSEまたはHDS-Rが20点以上の方が対象となります。なお、同系統薬である「ケサンラ（ドナネマブ）」についても適応基準に基づき対応可能です。投与患者の選択基準や専用受診依頼票のダウンロードについては、当院ホームページをご確認ください。

豊川市民病院 早期認知症外来

検索



発行：豊川市民病院 患者サポートセンター

〒442-8561 豊川市八幡町野路23番地

電話 0533-86-1111【代表】 0533-89-5825【病診連携室】

※休診日：土・日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

※名鉄豊川線「八幡」駅下車すぐ。

※「豊川市コミュニティバス」「豊鉄バス」の乗り入れ有り。